

## 佳作

「健診 看護師としてできること」

金谷 祥枝さん

以前、健診センターの看護師として働いていたことがあります。職場の定期健診だけでなく、就職や受験の中に健康診断が入っている場合などがあり、健診を受ける目的は人それぞれです。健康診断に来所される方のほとんどは現在勤務しているか、これから新しい職場で働く予定なので検査結果は異常なしか異常があっても治療されている人がほとんどです。検査結果に異常が見つかった場合は精密検査を受けていただくように医師が記入し、急いで受診した方が良いと思われる場合には会社や本人に連絡することもありました。20名の男性で公務員試験の3次試験で健康診断に来所された方がいました。一通りの検査を受けた後「検査結果は厳封にして下さい。」と言われ指定の健康診断用紙を預かりました。その男性が帰った後レントゲンの読影をしていた医師が難しそうな顔で「あの男性のレントゲン写真に影があるんだよ。急いで精密検査をした方がいいと思うんだけど連絡取れる？」と言われました。すぐに男性と連絡を取り来所をお願いしました。数日後男性が来所し医師から「胸部レントゲンに異常があります。急いで検査をする必要があります。健康診断には胸部レントゲンに異常ありと記入しました。」と伝えられました。一通り医師から説明を受けた後、私は男性へ医療機関への紹介状と厳封された健康診断書を手渡しました。「お世話になりました。」と俯いて言う男性の姿は、「公務員試験の3次試験の試験項目に健康診断があるんですよ。」と話してくれた初めて来所された時とは別人のようでした。

それから数ヶ月立った時のことです。男性から健診センターに電話がありました。「説明を受けた後、すぐ病院に行きました。検査してもらった結果、やはり肺がんでした。今は肺がんの手術をして少しずつ回復しています。公務員試験は辞退しました。受験に向けて頑張ってきたので、とても辛かったです。あの時健康診断を受けていなければ、もしかしたら命は無くなっていたかもしれません。今はしっかり治療して、また試験を受けようと思っています。」と連絡をいただきました。辛い思いをしたけれど、前向きに受け止めようとする男性の姿勢は、健診の仕事にやりがいを感じられなくなっていた私に看護師としての向き合い方を教えられたような気がします。男性は話の最後に「もしこれから健康診断のことを話す機会があったら、自分の話をしてください。私の命は健康診断に助けてもらったようなものですから。」そう言って電話を切りました。私は今、

健診センターでの仕事はしていませんが、健康診断の大切さは伝え続けています。男性の体験談とともに。